

「第6次防府市総合計画(案)」に対するパブリックコメントの実施結果について

「第6次防府市総合計画(案)」に対するパブリックコメントを実施した結果(提出いただいたご意見の概要とそれに対する市の考え方)がまとまりましたので、次のとおり公表します。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

1 意見の募集期間

令和7年10月6日(月)～令和7年11月4日(火)

2 意見の提出状況

提出者数 5人

意見の数 9件

3 意見への対応

A:意見を受けて加筆・修正をしたもの	3件
B:施策、事業実施にあたって考慮すべき事柄として参考とするもの	5件
C:すでに記載済み又は対応済みのもの	1件
D:意見を反映することが困難なもの	0件
E:その他	0件

4 意見に対する市の考え方

項目2:第2章 重点プロジェクト(防府まち・ひと・しごと創生総合戦略)

1 安全・安心を第一にしたまちづくり(P17～P22)

No.	意見	市の考え方	対応区分
1	<p>第6次総合計画期間には、玉祖地区内の①広域防災広場整備、②総合医療センター移転・建替え、③道路整備、④ほ場整備の事業が予定されています。</p> <p>しかし、これら事業の計画予定地周辺は、従来から雨水による浸水被害が発生していることから、これの対策が何もなされないままに事業が進められることに、地元住民からは不安や心配の声の寄せられており、浸水対策についての要望書も既に提出されています。</p> <p>このため、令和7年度には、「浸水対策設計委託業務」が発注されており、前記①～④の事業完成までには、必要な「玉祖地域浸水対策事業」が実施されると思慮されます。</p> <p>については、この浸水対策事業についても「市街地の雨水排水対策」などと同様に、第6次総合計画に記載されるものであると考えます。</p>	<p>「玉祖地域浸水対策事業」の記載につきましては、広域防災広場の整備に併せて実施しますので、P18のスケジュール「広域防災広場の整備」の〈関連施設〉に「浸水対策施設含む」を追加します。</p>	A

2 未来を拓くこどもの育成(P23～P30)

2	<p>こどもが行きたくなる遊び場づくりの一環として、学校や公園の遊具・トイレ整備があげられています。</p> <p>既存施設のグレードアップに反対するものではありませんが、近くに適当な遊び場が用意されていないこどもについては、どのように考えられているのでしょうか。数年前には、道路を遊び場とすることについて、何らの解決策が示されないまま、注意喚起の文書のみを回観するように市から自治会に依頼がありました。</p> <p>以上のことから、こどもが増加している周辺地域のうち、近くに学校や適当な遊び場のないところについては、必要に応じて公園等を整備すること、また、公民館建替え計画があるところでは、これに併せて遊び場設置を進めることについて、第6次総合計画に追加で記載される必要があると考えます。</p>	<p>公園や遊び場の設置につきましては、P105①『公園・緑地の整備・保全』の「新たな公園整備・運営手法の検討」に包含的に記載していることから、原案のとおりいたします。</p> <p>いただいた御意見は、今後の事業実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	B
3	<p>防犯対策としての夜間の明るさの確保について(防犯対策の推進)</p> <p>近年、田畠が住宅地へと変化し、異文化を持つ外国人労働者の方々も増加する中で、地域の様相は大きく変わりつつあります。そうした中、こどもたちの通学路となる場所が夜間に非常に暗い状態であることは、防犯の観点からも懸念されるところです。</p> <p>防犯カメラの設置も有効な手段ではありますが、「犯罪を未然に防ぐ環境づくり」という視点から、夜間でも安心して通行できるよう、照明の整備を含めた通学路の見直しをご検討いただく存じます。</p>	<p>防犯対策としての夜間の明るさの確保につきましては、P30①『こどもの安全対策を進めます。』の「小・中学校の通学路等に防犯灯・防犯カメラを設置します。」及び、P35②『防犯対策を強化します。』の「防犯上必要な場所に防犯カメラなどを設置します。」に位置付けています。</p> <p>なお、通学路の見直しについては、各学校において、適宜、実施しています。</p>	C
4	<p>自転車を安全・安心に利用するための環境整備について(交通安全の推進)</p> <p>2026年4月より、自転車の交通違反に対する青切符制度が導入される予定ですが、現状では自転車道の整備が十分とは言えず、利用者は歩道を走行するか、排水溝程度の幅しかない分離帯と白線の内側を走行せざるを得ない状況です。</p> <p>警察の見解は現時点では保留とのことですですが、制度の施行に先立ち、自転車利用者が安心して走行できるよう、分かりやすく安全な自転車道の整備が急務であると考えます。交通ルールの遵守を促すためにも、まずは走行環境の改善をご検討いただきたい、意見を申し述べます。</p>	<p>自転車の走行環境の改善につきましては、P70①『交通安全の推進』の「歩道の新設や、ガードレール、カーブミラー、区画線など交通安全施設の点検・整備」に包含的に記載していることから、原案のとおりといたします。</p> <p>いただいたご意見は、自転車を活かしたまちづくりを進める中で、参考とさせていただきます。</p> <p>また、自転車を活かしたまちづくりにつきましては、No.7で対応してまいります。</p>	B

3 健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり(P31～P40)

5	<p>クリーンセンターの「エコまつり」が開催され、3Rやカーボンニュートラルなど様々な取り組みをされていましたが、一般的にはゴミ収集のイメージ強いと思います。廃棄物発電によるエネルギー回収や365日のビン回収などエコに対して様々な取り組みをされているので、このことをわかりやすく示されたらいかがでしょうか。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、P39②『省エネルギー化やリサイクル等3Rに取り組みます。』に、クリーンセンターが進めるエコの取組等を図で示します。</p>	A
---	---	--	---

4 活力ある中心市街地の形成(P41～P42)

6	<p>魅力あるまちづくりの推進について 古くなったアーケードの更新については賛成いたしますが、景観を重視するあまり、完全に撤去するという方針には疑問を感じております。従来、雨天時の歩行を主目的として整備されたアーケードは、近年の猛暑日にも有効な遮熱空間として機能しており、特に身長の低いこどもにとっては、地面からの照り返しによる熱の影響が深刻です。 季節を問わず快適に歩ける環境を整えることは、地域の魅力向上にもつながる考えます。つきましては、屋根のある表参道の整備について、改めてご検討いただけますようお願い申し上げます。</p>	<p>表参道の整備につきましては、P42③『表参道にぎわいプロジェクトに取り組みます。』に位置付けています。 季節を問わず快適に歩ける環境を整えることは、表参道のにぎわい創出にとって重要であることから、いただいたご意見は、全体の整備を進める中で、参考とさせていただきます。</p>	B
---	--	--	---

6 恵まれた資源を活かした交流拡大(P51～P56)

7	<p>競輪場のリニューアルによって、こどもの遊び場などが整備され、競輪をしない親子連れなどにも訪れやすい施設となり、週末など多くのお客様で賑わっています。今後も県下最大の防府平野により自転車を活用した観光地めぐりや駅を拠点としたサイクルアンドライドの推進が期待できることから、競輪場のあるまちとして、例えばソフト面ではレンタサイクルとそのシステムの拡大、ハード面ではレンタサイクルの拡大や自転車が安心して利用できる道路・標識等の整備といったことを視野に、自転車を活用したまちづくりについても盛り込んでいかがでしょうか。(第6次の53頁、96頁)</p>	<p>自転車を活かしたまちづくりは、競輪PRを含め、市の活性化に期待できることから、P53②『競輪場を舞台に交流を創出します。』に「自転車を活かしたまちづくりを進めます。」を追加します。 なお、「通行区分や標識等といった利用者のための整備」等のご意見につきましては、事業実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	A
---	--	--	---

項目3:第3章 分野別施策

6 都市・建設(P101～P106)

8	<p>近年における空き家・空き家跡地・耕作放棄地の増加、自然災害多発、少子化、高齢化等に鑑みて、安全安心な居住環境の整備、防災、青少年の健全育成、高齢者の健康維持などのための多目的公園(健康笑顔公園(仮称))を、市内の各地域に、地元要望や用地確保の見通しが立った地域から、順次整備する制度の創設を、第6次防府市総合計画の中に盛り込まれてはいかがでしょうか。</p>	<p>安全安心な居住環境の整備、防災につきましては、P17～P22の重点プロジェクト1『安全安心を第一にしたまちづくり』に位置付けております。 また、青少年の健全育成、高齢者の健康維持につきましては、P86③『青年の健全育成』に、青少年育成会議など関係団体と連携し、青少年の健全な育成に向けた取組の推進や、P31②『元気な毎日を送るための健康づくりを進めます。』に、高齢者健康の道の整備などを位置付けています。 また、空き家・空き地対策につきましては、P104③『空き家対策の充実』に、空き家や空き家跡地を公共目的で利用などを位置付け、耕作放棄地対策につきましては、P43①『市農業公社を中心とし、「土地利用型農業推進プロジェクト」に取り組みます。』に、耕作放棄地対策の実施を位置付けています。 こうした中、多目的公園整備制度の創設につきましては、P26③『行きたくなる遊び場づくりを進めます。』に、市内全域に広がるほうふつ子遊び場の提供や、P105①『公園・緑地の整備・保全』に、新たな公園整備、運営手法の検討に包含的に記載していることから、原案のとおりといたします。 いただいたご意見は、今後の事業実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	B
---	--	--	---

その他

9	<p>まだ素案なので変わる可能性があるとは思いますが、第5次計画とは見出しがのフォントやセンテンスの見出し(●とか□とか)、色合いなどが異なっています。新しい計画という意味ではいいと思いますが、上述のように連続した計画であることを市民に意識させるのであれば同じようにするのがいいかと思います。ただ、ユニバーサルデザインとする目的であったり、過去の色合い等を改善することであれば問題ありません。</p>	<p>提出されたご意見は、総合計画全般に対する記載方法等の要望と捉え、参考意見として取り扱いさせていただきます。</p>	B
---	--	--	---